

ちいさなお子さんから

『ぐるぐるちゃんとうさぎのふわふわちゃん』
ながえ あおい さく
長江 青 / 作
福音館書店



冬のあさ、りすのぐるぐるちゃんがおきたら、もりはゆきで真っ白でした。そとにあそびに出たぐるぐるちゃんは、うさぎのふわふわちゃんとお会います。二人はどんなあそびを始めるのでしょうか？

ていねいなねんから

『ワタナベさん』
きたむら なおこ さく
北村 直子 / 作
かいせいしゃ
偕成社



ガラガラっと戸をあければ、待ちかまえているのはワタナベさん。ワタナベさんは、おなべ一つでどんな料理でも美味しくつくる名人。そんなワタナベさんに「ナポリタン三人前」という注文がきます。フライパンがなくても、ナポリタンが作れるのでしょうか？なべ一つでできるナポリタンの作り方も紹介します。

中学年から

『かさじぞう』
せ た ていじ さいりわ あかほ すえきち が
瀬田 貞二 / 再話 赤羽 末吉 / 画
福音館書店



もうすぐ新しい年を迎えるのに、おじいさんとおばあさんは、食べるものにも困ってました。おじいさんは、毎日かさを売りに町に出かけますが、なかなか売れません。そのうちに白が来てしまい、家に帰っていると六人のおじぞうさまに出会いました。おじいさんは、おじぞうさまが寒かろうと、かさをかぶせてあげますが…。

高学年から

『おしゃべりな毛糸玉』
さわだ しんじ さく こいずみ りんご へ
沢田 俊子 / 作 小泉 るみ子 / 絵
ぶんけんしゅつぱん
文研出版



寒がりのおばあさんは、残りの毛糸をつなぎ合わせ、肩かけを編んでいました。出来上がった肩かけを羽織ってみると、心も体もほっこりあたたか…。古い毛糸のつなぎ目は、大切な人との思い出のつなぎ目でもあったのです。心があたたかくなる絵本です。

ぴよぴよおはなしかい

- ようび：だい2・3すいようび
- じかん：ごぜん11じ30ぷん～
(20ぷんほど)

☆えほんやわらべうたなど、0～2さいのおこさんといっしょにお楽しみください。

おはなしかい

- ようび：どようび・にちようび
- じかん：ごご2じ～(30ぷんほど)
だい1・3・5どようびは、にじのかい

☆えほんやてあそびなど、幼児～小学生向けの楽しいおはなしかいです。

うちどく
家読リスト

よもよも。

★毎月23日は、
『朝倉市子ども読書の日』



2019ねん **12** がつごう

あさくらしちゅうおうとしょかん

あかちゃんから

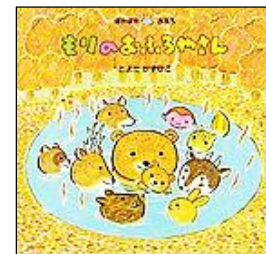
『えんやら りんごの木』
まつだに ひろみ さく うえんとう てるよ / 絵
松谷 みよ子 / 文 遠藤 てるよ / 絵
かいせいしゃ
偕成社



りんごの木のなえが大きな木になり、花が咲いてりんごの実がなりました。赤く実ったりんごをだれにあげようかな？「〇〇にあげましょか～」とりんごをあげるしぐさをしながら、親子でうたって楽しめるわらべうた絵本です。おやすみ前にどうぞ。

ちいさなお子さんから

『もりのおふろやさん』
とよたかすひこ / さく・え
ひさかたチャイルド



森にわいたお風呂に動物たちが入っていると、岩の向こうから「かわいいねえ、かわいいねえ」と声が聞こえてきました。動物たちがそこをのぞいてみると…。ユーモアたっぷりの「おふろやさん」シリーズです。